

軌道で使用した古枕木を提供する小学校で勉強会を開催



立山砂防事務所では、砂防工事専用軌道（通称：トロッコ）で使用した古枕木を一般の方に無償で提供しています。昨年に引き続き、富山市立新庄北小学校の児童のみなさんから「花壇の補修用に古枕木を提供してほしい」との依頼を受け、枕木がどのように使われていたかを学んでいただく勉強会を開催いたしました。立山の砂防事業とトロッコの関わりや歴史について学んでいただくと共に、富山平野を守る立山の砂防事業や土砂災害についても学習していただきました。

開催日：令和6年10月1日(火) 13:10~13:55
場所：富山市立新庄北小学校
対象：3年生 106名
講師：立山砂防事務所 弦巻保全対策官
内容：常願寺川の砂防事業
砂防専用軌道について
軌道で使用されている枕木について



弦巻保全対策官



熱心にメモを取る子供たち



質問タイムでは、たくさんの質問が出ました



勉強会の様子

古枕木の無償提供について（10月下旬～11月上旬）

立山砂防事務所では、今回の小学校への提供以外にも古枕木を一般の方に無償で提供しています。古枕木の処分にお金がかかることや、環境への影響に配慮したもので、花壇等に利用していただくことで環境改善の効果を期待した取り組みです。古枕木は本数に限りがありますので、事前に申し込みが必要となります。また、枕木を積める車両で集積場まで取りに来ていただける方に限ります。詳しくは立山砂防事務所のホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/> でご確認をお願いいたします。



古枕木（無償提供）の積み込み状況（令和5年の様子）